

〈学校教育目標〉  
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成  
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校  
令和2年6月19日  
第24号

## 田植え体験（5・6年生）

学校周辺も田植えが終わり、小さな苗が整然と並んでいる風景を見ることが出来ます。土色の田が一面黄緑色に変化し、これからその色もだんだん緑色に変わって濃くなっていくのでしょうか。まだ、田植えが終わっていない田は、水が張られた状態で、今か今かと苗の受け入れを待ち構えているようです。

さて、毎年恒例の田植え体験が17日（水曜日）の午後行われました。運動場北側の田の一角をお借りして、田植え体験をさせていただいたのは、5・6年生。この日は、熱中症を心配するほど暑かったのですが、泥中に足を踏み入れた子どもたちは気持ちよさそうでした。田植えの指導やお手伝いをしてくださったのは、難波分館長さん、東さん、定井営農組合長さんの3人でした。すぐに植えることができる状態に準備をしてくださっていました。5年生は3人とも田植えが初めてだったのですが、コツをつかんで丁寧に植えていました。20分ほどで終了。暑い中、お世話になり本当にありがとうございました。実りの秋には今度は、植えた稲を刈らせていただく予定です。



横山さんから頂いた苗を田に運ぶところから始まりました。



泥中では歩きにくいので、腕をあらん限り伸ばして。



昨年も田植えを経験した、ベテランの6年生は、上手に手際よく植えていきました。歩き方も息が合っています。

一列に並んで、自分の前にある田植え綱の印の所へ植えていきます。

あいさつの後、苗の植え方を聞きました。「4～5本持って、あまり深くないように、差し込むように」と東さんが説明をしてくださいました。



田植えも無事終了。手がこんなにになりました。



直原先生は、田植えが初めての5年生を見守りながら、綱の移動を担当しました。

苗を適当な塊で渡してくださいました。ちなみに植えた苗は「朝日米」だそうです。給食と同じです。

左から、東さん、定井さん、難波さん。暑い中本当にありがとうございました。



